

## 羽村市が目指す生涯学習の姿について

第二次羽村市生涯学習基本計画では、羽村市生涯学習基本条例における基本理念を体现するため、羽村市が目指す生涯学習社会の姿を以下のとおりとして、推進していきます。

○羽村市が目指す生涯学習の姿

### 人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び

学びはさまざまに関連し、連携し、受け継がれ、それが地域の文化や伝統となっていくます。羽村らしさを感じ、地域を思う気持ちが「ふるさと意識」を醸成し、自分を認めることにもつながります。先人たちが築いてきた「わがまち 羽村」をこれからの時代を生きる今の子どもたちへとつないでいきます。そして、市民が自ら楽しく学ぶことができる生涯学習を推進します。

#### 人とつながる

少子高齢化、核家族化、情報化等の社会状況の変化により、人間関係や地域におけるつながりの希薄化が懸念されています。こうした中、学びの分野においても、家庭や学校、社会、地域における人と人とのつながりの構築の重要性が高まっています。

多様な市民が共に学び合い、学びを通じて人と人、人と地域がつながり、また、今の世代から次の世代へと学びがにつながる生涯学習を目指します。

#### 豊かな心を育む

価値観が多様化する中で、市民一人ひとりが、自己実現を果たし、生きがいを持って、自分らしい豊かな人生を送ることができるようにすることが、生涯学習に求められています。

自らが自らを認める思い、他者を認める思いが育まれることで、多様な価値観を受け入れることのできる豊かな心が醸成されていきます。市民一人ひとりが様々な学習活動や社会参加活動などを通じて、楽しさを実感できるとともに、自己肯定感を高め、心の豊かさを育むことができる生涯学習を目指します。

#### 未来にひろがる

近年の社会情勢は、ICT の活用が拡大し、劇的な変化も進んでいます。刻々と変わりゆく環境に対応するとともに、人生 100 年時代といわれる中、市民一人ひとりがその可能性を最大限に引き出し、自己実現をはかり、未来に夢を持って、多様で豊かな人生を送ることができるよう、誰もがあらゆる機会に学び続けることができる環境が求められます。

新しい技術や社会を背景にした学びの環境を整備し、市民一人ひとりがそれぞれの学びを実現できるようにするとともに、主体的な活動によりその学びが地域に大きく広がり、ヒトやモノが大きく成長し、未来にひろがるような生涯学習を目指します。

#### はむらの学び